

【七ヶ浜町】
校務D X計画

1 七ヶ浜町における校務D Xへ向けた取組について

学校を取り巻くI C T環境が急速に変化する中で、変化する時代を生きる子供たちに必要な力を育む学びの実現を目標とする七ヶ浜町が目標としている「宮城県七ヶ浜町学校教育情報化推進の考え方」において、校務D Xへ向けた取組として、以下のとおり記している。

第4節 「校務の情報化の推進」について

(1) 校務の情報化の目的

教員勤務実態調査で明らかになった教師の長時間勤務の状況を踏まえ、教師が自らの人間性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになるよう学校における働き方改革に関する議論が中央教育審議会でなされ、「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について(答申)」が取りまとめられました。

その中でも、勤務時間管理や業務改善・効率化への支援として、統合型校務支援システムの導入の必要性が盛り込まれているとおり、校務の情報化の目的は、効率的な校務処理による業務時間の削減、ならびに教育活動の質を向上させることにあります。

校務が効率的に遂行できるようになることで、教職員が児童生徒の指導に対してより多くの時間を割くことが可能となります。また、児童生徒の出欠・身体・成績・学習履歴等、様々な情報の分析や共有により、今まで以上に細部まで目が行き届いた学習指導や生徒指導などの教育活動が実現できます。さらに、教師間における指導計画、指導案、指導事例等の情報共有により、教師間のコミュニケーションを増加させたり、学校ウェブサイトやメールなどによる情報発信により、家庭・地域からの理解・協力を促進させたりすることができます。このように校務の情報化は、学校における校務の負担軽減を図り、よりよい教育を実現させるためのものです。

本町では、令和5年12月27日付け5初修教第15号通知『「G I G Aスクール構想の下での校務D X化チェックリスト」に基づいた自己点検結果の報告について』に基づき、これまでの取組を見直してきた。今後も校務D Xに関する取組を加速させていく。

1 クラウドサービスの活用

① 現状と課題

本町では、「教員と保護者間の連絡」「教員と児童生徒間の連絡」「学校内の連絡」に、「Google Workspace for Education」や保護者連絡アプリを用いている。児童生徒の欠席等連絡、学校から保護者へのお便り配信、児童生徒への宿題配信、職員間の情報共有等において、上記のサービス等を用いたことで、業務の効率化、時間の有効活用、ペーパーレス化につながっている。

しかしながら、学校間において活用の格差が見られる点が課題となっている。

② 解決策

活用が進んでいない学校の現状と課題を把握するとともに、引き続き好事例や先進的事例に関する情報を提供し、校務D Xが推進されるよう継続して支援していく。

2 FAXでのやり取り・押印の見直し

① 現状及び課題

本町では、原則紙でのやり取りや押印の廃止に向け、保護者への配信アプリや校務支援システム等を活用しているが、慣例的に業務上F A Xが未だに使用され、また、全ての学校において、保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類がある状況となっている。

② 課題の解決へ向けた取組

災害時や学校教育ネットワークの不具合時など、FAXの方が効率的な場合を除き、FAXの原則廃止に向けて、関係機関及び学校とやりとりのある事業者に対し、教育委員会から慣行の見直しの依頼をする等、継続的に働き掛けていく。また、教育委員会内で押印を求めている業務や書類の有無と見直しの可否、見直しができない場合の理由についての現状把握を行い、機微な情報を取り扱う場合を除き、公印省略で取り扱うなど押印ルールの見直しを図っていく。

3 校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の廃止

本町で導入している校務支援システムは、児童生徒の名簿等の情報入力を手作業で行うことも可能であるが、原則としてはCSV形式で作成した個人情報ファイルを取り込んで登録することとしている。個人情報ファイルの取扱いに十分留意し、今後も継続して行っていく。

4 今後の校務支援システムの在り方について

① 現状及び課題

本町で導入している現行の校務支援システムは、ネットワーク分離によるオンプレミス（プライベートクラウド）型運用となっている。そのため、自宅や出張先での校務処理ができないなどの課題が見られる。

② 課題の解決へ向けた取組

国で行っている次世代の校務デジタル化実証事業の成果などを参考にしながら、校務系・学習系ネットワークの統合やクラウド環境での校務の実施等を視野に入れ、次世代の校務DXを実現するシステムの導入の検討を進めていく。